

(別紙4(2))

事業所名 洞戸グループホーム 天津風

## 2 目標達成計画

作成日: 令和 2年 4月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・運営理念が、職員間(特に入職1~3年)の方に浸透していないと思われる傾向が、表れている。そのため日々のケアの判断基準にこの理念が生かされていないと思われることがある。	・日々のケアの判断基準にこの運営理念が、生かされてるように、再度理念を共有に努める。	・書面やカンファレンス、施設内のSNS等で、なぜ開設時にこの理念になったのかを個々の職員が納得いくように伝え、話し合いを通じ理念に対する理解を深め共有する。	12ヶ月
2	11	・施設の運営に関して、幅広い職員の意見を取り入れているとは言い難い。カンファレンス等に参加して意見を述べる職員も偏りがちである。	・職員ひとりひとりの意見が運営に反映されるしくみを作り、風通しの良い組織づくりをしていく。	・意見集約や課題の認識のしくみをこれまでと変えていく。職員ひとりひとりが自主的に組織内を活性化するようなしくみをつくり、運営に生かしたい。	12ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。